



株式会社 ピクセラ

2005年9月期第3四半期決算説明会



会社概要

四半期決算概要と通期見通し

当四半期における取組

事業展開

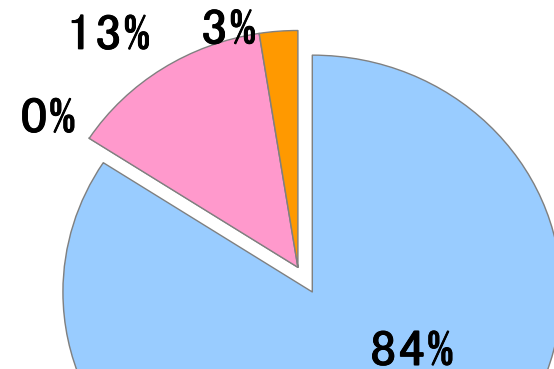
会社概要

概 要

設 立 : 1982年 6月
拠 点 : 大阪本社、東京支社
資 本 金 : 2,555百万円
(05/6末)
従業員数 : 182人
(05/6末)
関連会社 : 連結子会社 1社
持分法適用会社 3社
取 引 先 : PC、電機メーカー等
事業内容 : コンピュータ周辺機器
およびソフトウェアの
開発・販売



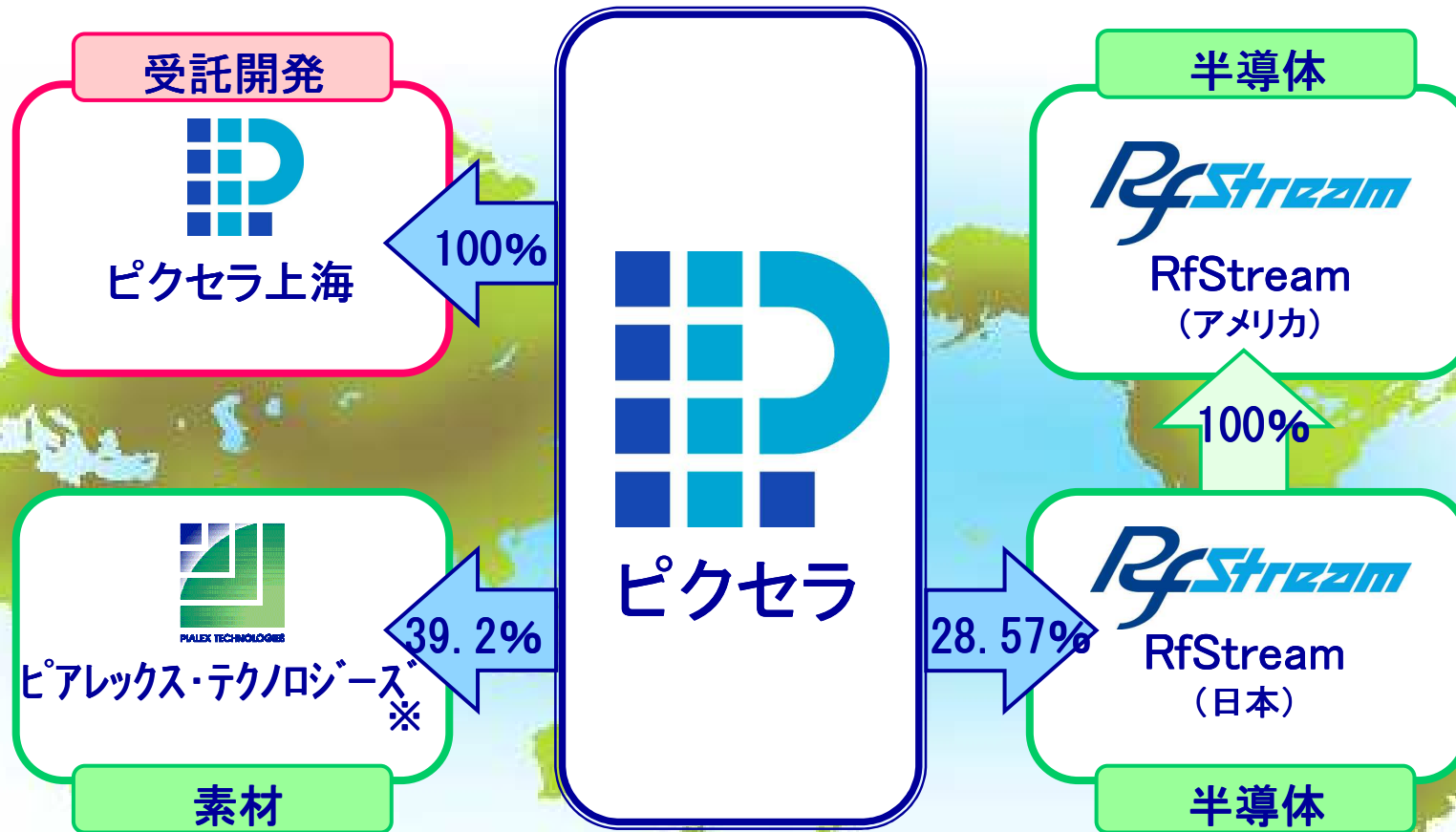
製品群別売上高実績



売上高5,564百万円
05/9期 Q3実績(連結)

- ◆ハードウェア TVキャプチャー、DVDドライブ、半導体
- ◆ソフトウェア 画像処理ソフト、TVアプリ、制御ソフト
- ◆ロイヤリティ デジカメ等に同梱・バンドルされる
画像処理ソフト(出荷台数に応じて売上)
- ◆受託開発 主にドライバ、ロイヤリティソフトの開発
およびバージョンアップ

ピクセラグループ



※ 矢印内の数字はピクセラの出資比率



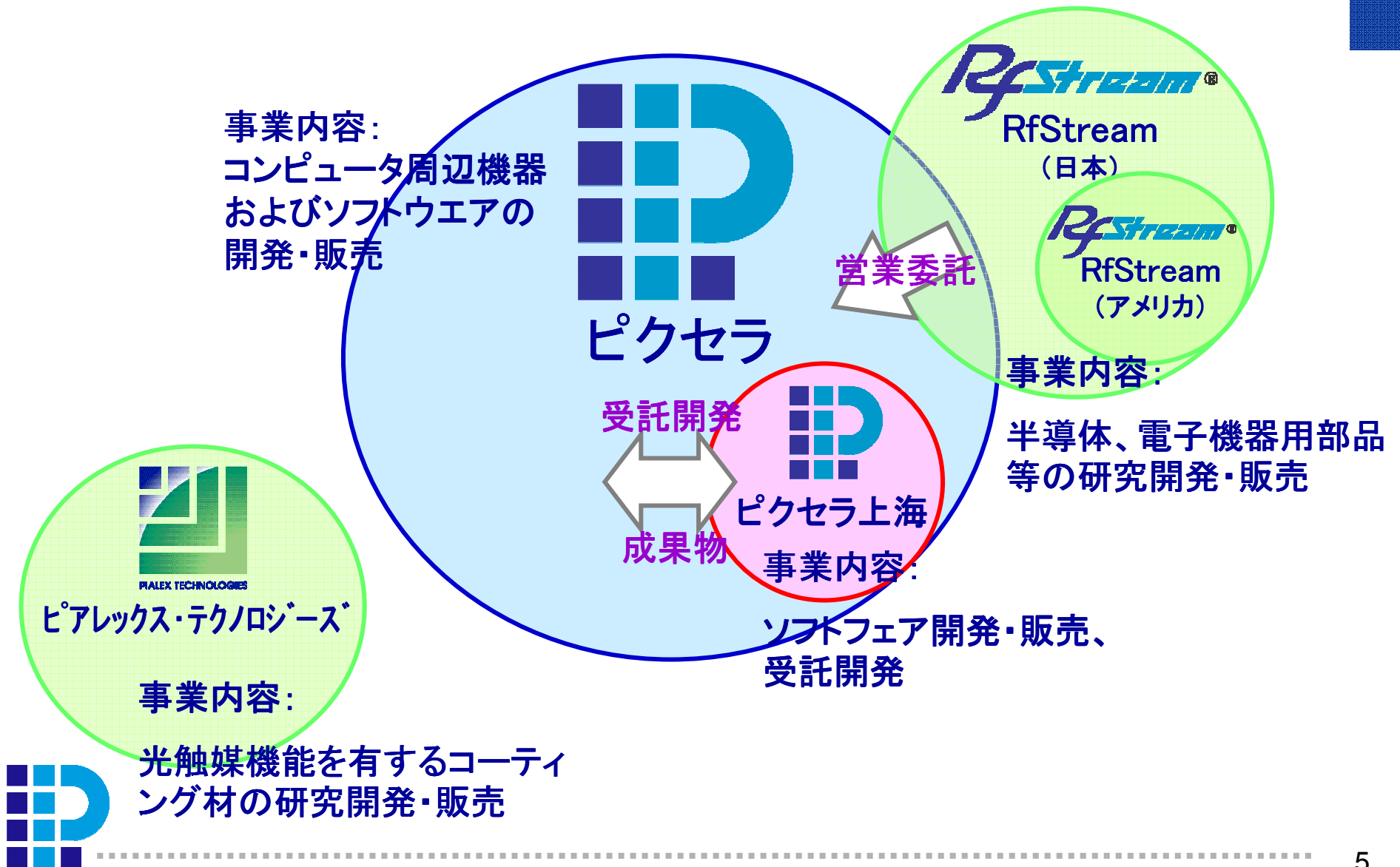
連結子会社



持分法適用関連会社

※ 東邦建業は2005年1月に、ピアレックス・テクノロジーズに商号変更しております

ピクセラグループ事業内容





会社概要

四半期決算概要と通期見通し

当四半期における事業展開

今後の展望

05/9 第3四半期実績

(単位: 百万円、%)

	05/9期 第3四半期 実績(連結)	05/9期 第3四半期 実績(単体)		04/9期 第3四半期 実績(単体)
	金額 構成比	金額 構成比	前期比	金額 構成比
売上高	5,564 100.0	5,564 100.0	100.5	5,535 100.0
売上総利益	1,220 21.9	1,216 21.9	70.6	1,722 31.1
営業利益	△117 △2.1	△111 △2.0	—	759 13.7
経常利益	△243 △4.4	△113 △2.0	—	746 13.5
純利益	△277 △5.0	△147 △2.7	—	438 7.9



05/9 第3四半期業績のポイント

◆ハードウェア

(キャプチャー製品)

□計画数量の未達

・地デジ・デスクトップ・ノート向け
ともに計画数量若干弱含み

□計画単価の維持

・地デジ・デスクトップ、ノート向け
ともに計画単価を維持

(半導体製品)

□数量の減少(引続き)

・搭載予定機種の縮小

◆ロイヤリティ

(デジカメ等バンドルソフト)

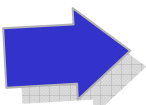
□計画数量の達成

□計画単価の未達

(TVアプリ)

□計画数量若干弱含み

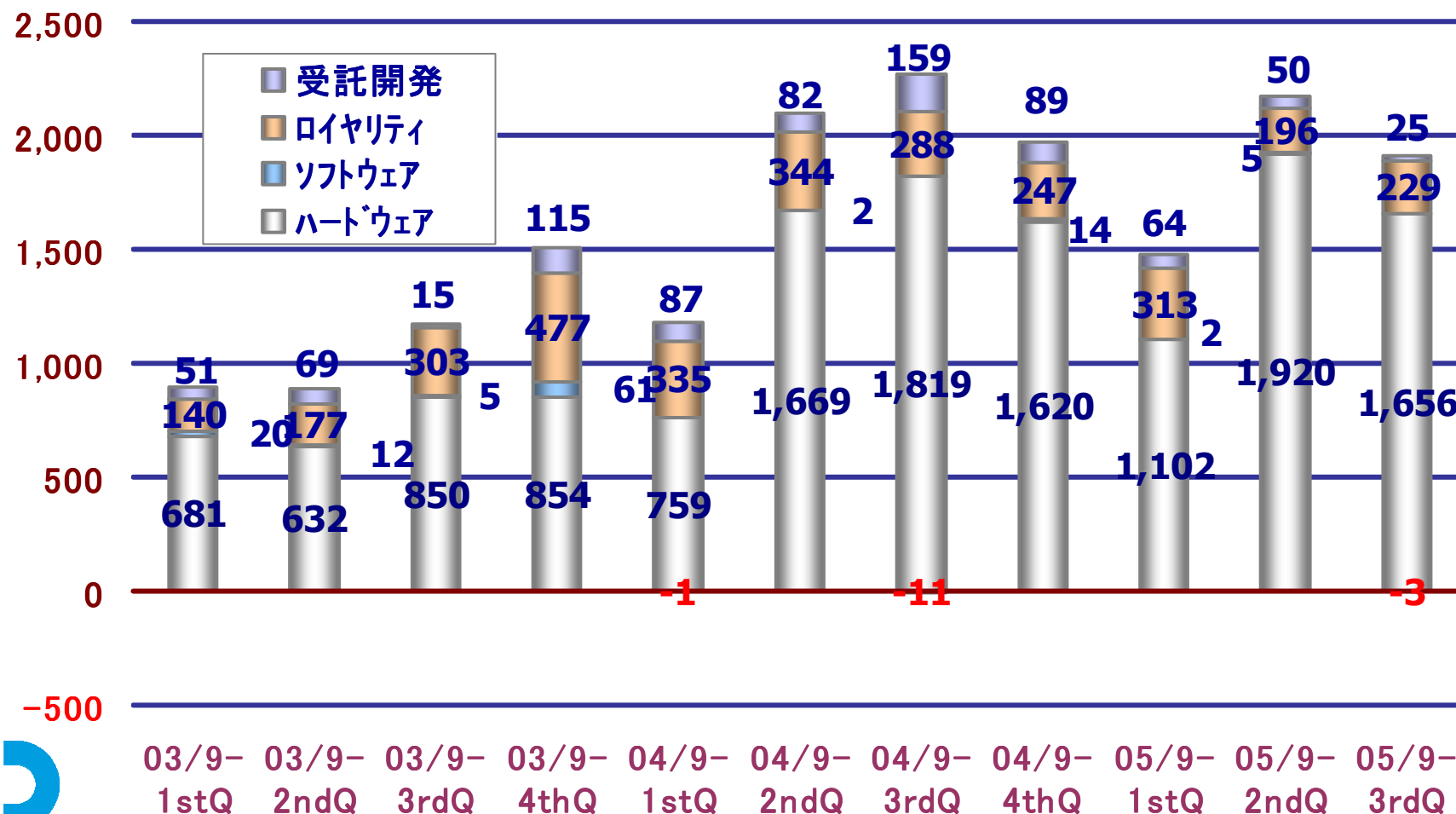
□計画単価の維持

	数量	単価
ハードOEM 製品		
ロイヤリティ 製品		



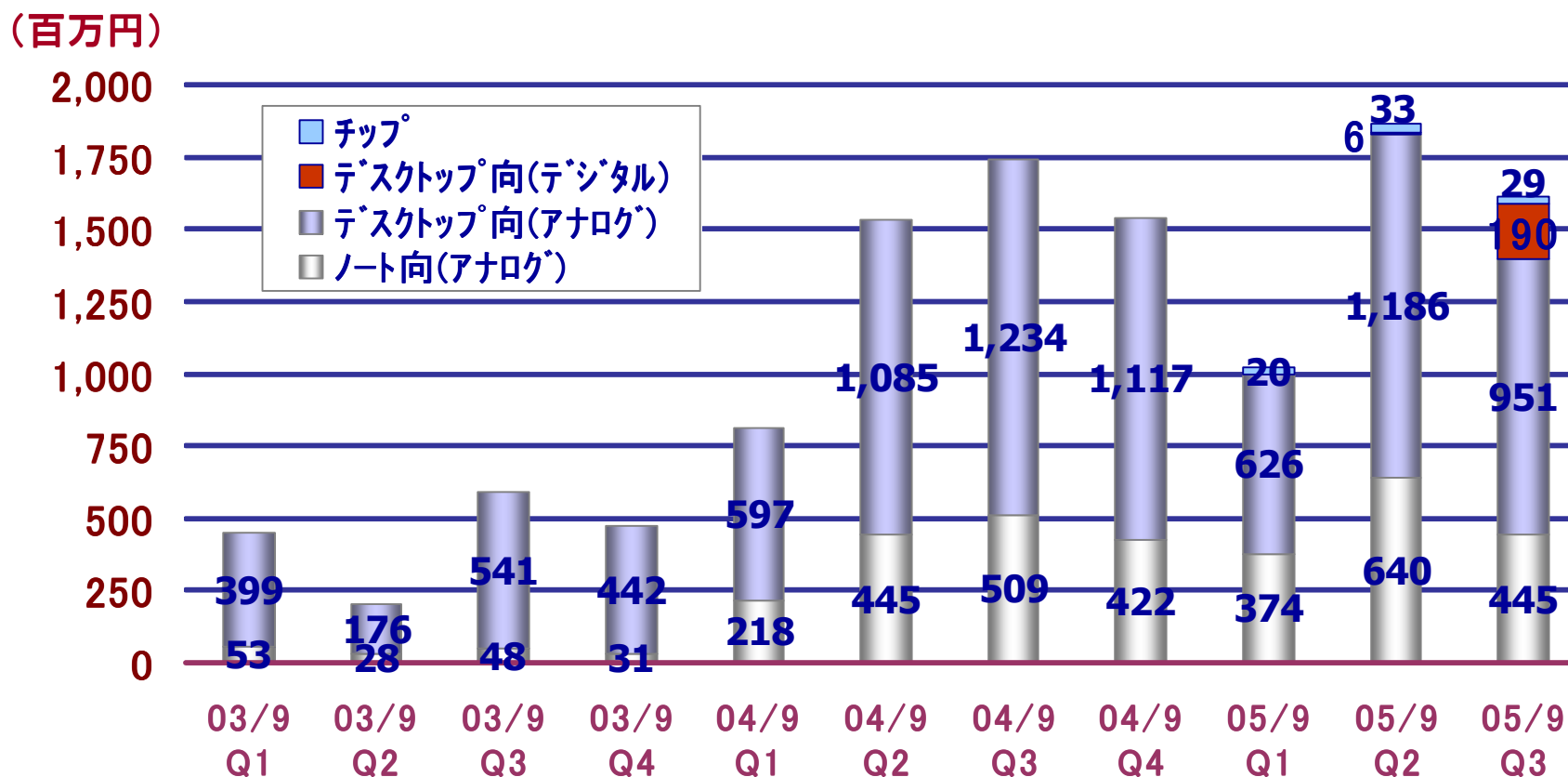
製品群別四半期売上高推移

(百万円)

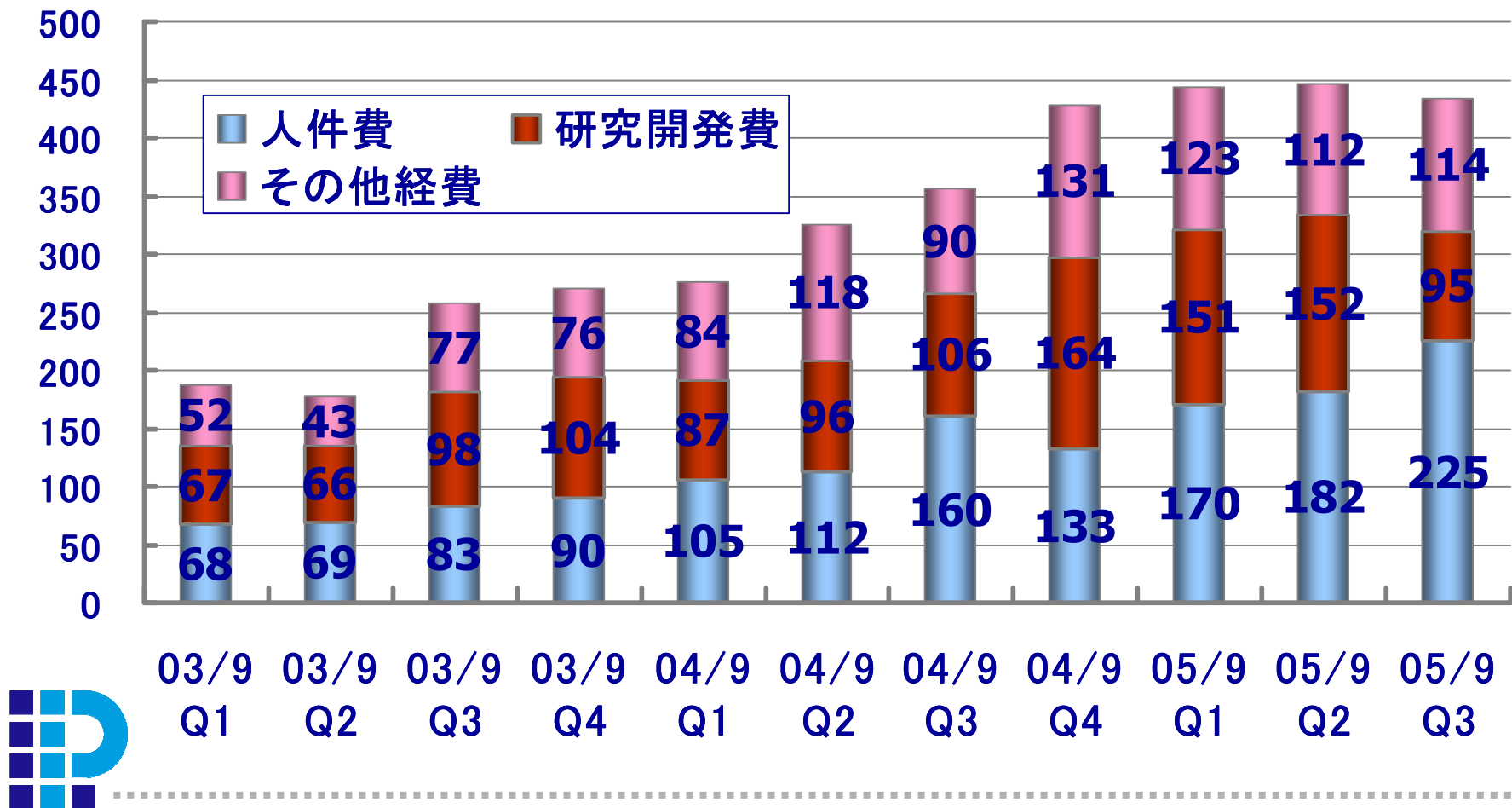
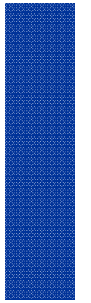


四半期毎のハードOEM向け種類別

【ハードOEM:デスクトップ/ノート別売上高構成】



四半期毎の販管費の推移



財務活動

■ 自社株買いの状況

- ・5月 7,000株
- ・6月 49,900株

■ 利益配当金(予定)

- ・期初計画通り、1株につき12円を予定



05/9期見通し

(単位: 百万円、%)

	04/9期単体		05/9期単体(予定)		05/9期連結(予定)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	7,506	100.0	8,234	100.0	8,234	100.0
売上総利益	2,262	30.1	1,976	24.0	1,988	24.1
営業利益	869	11.6	127	1.6	134	1.6
経常利益	837	11.2	100	1.2	△51	△0.6
当期純利益	478	6.4	59	0.7	△92	△1.1



05/9期見通しのポイント

◆ ハードウェア

□ 新製品の発売

- ・ 地上デジタルキャプチャーボード

(百万円)

	05/9期 1Q	05/9期 2Q	05/9期 3Q	05/9期 4Q
売上高	—	6	190	269

◆ ロイヤリティ

□ TVアプリの拡販

- ・ テレビアプリケーション

(百万円)

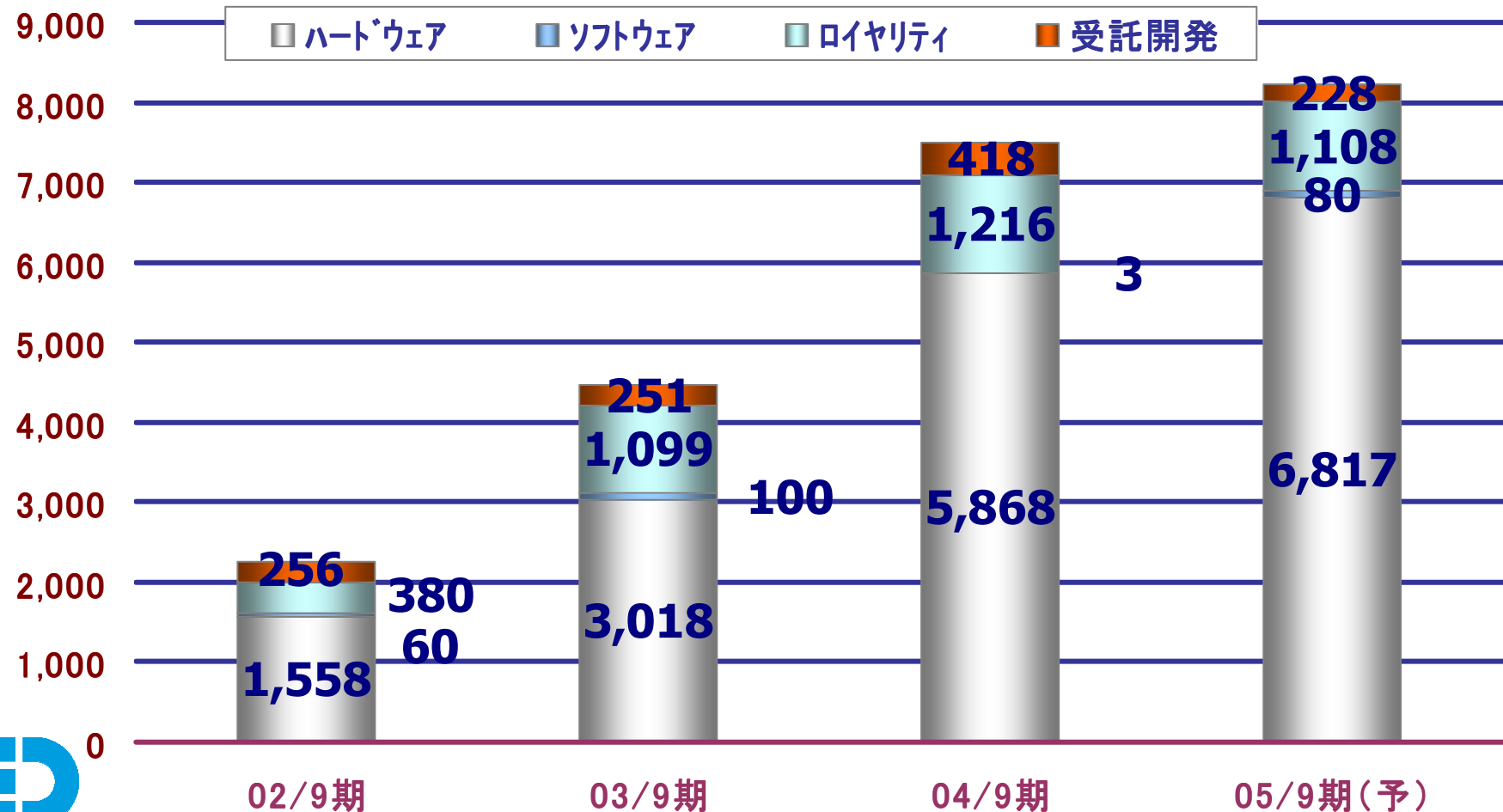
	05/9期 1Q	05/9期 2Q	05/9期 3Q	05/9期 4Q
売上高	12	11	35	82



売上高の見通し

【製品売上高構成推移】

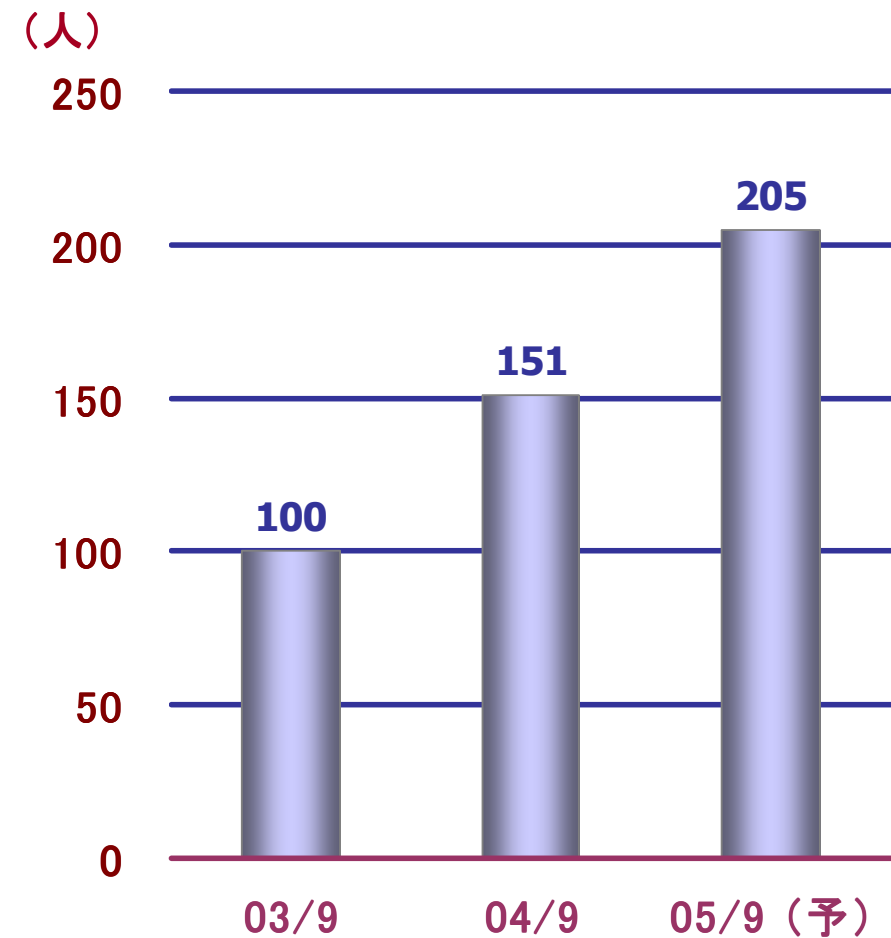
(百万円)



販管費及び人員計画

【販管費】

【人員数】



四半期毎の売上高・経常利益推移





会社概要

四半期決算概要と通期見通し

当四半期における事業展開

今後の展望

当四半期におけるトピックス

■新製品およびサービス

- ・PIX-MPTV/P8W(高画質W録画対応アナログテレビキャプチャーボード)リテール版発売
- ・Rec Station™ (テレビ番組情報提供サービス、PC向け)サービス開始
- ・RfStreamシリコンチューナー改良型が完成

■地上デジタルテレビキャプチャーボード引合状況



新製品およびサービス

PIX-MPTV/P8W(W録画対応高画質アナログテレビキャプチャーボード)リテール版発売

05年3月発表、PCメーカーにOEM供給をしている
W録画対応高画質を実現したTVキャプチャボード
のリテール製品、「REC Station」を組み込んだテレビ
視聴・録画統合アプリケーションソフトウェア
「StationTV G2」を新たに開発



Rec Station(テレビ番組情報提供サービス、PC向け)サービス開始

PIX-MPTV/P8Wリテール製品の発売に合わせ蓄
積型の新EPG(電子番組表)機能、番組検索、携
帯電話等からの遠隔予約などを可能とした利便性
を大幅に高めた新しい番組情報提供サービス



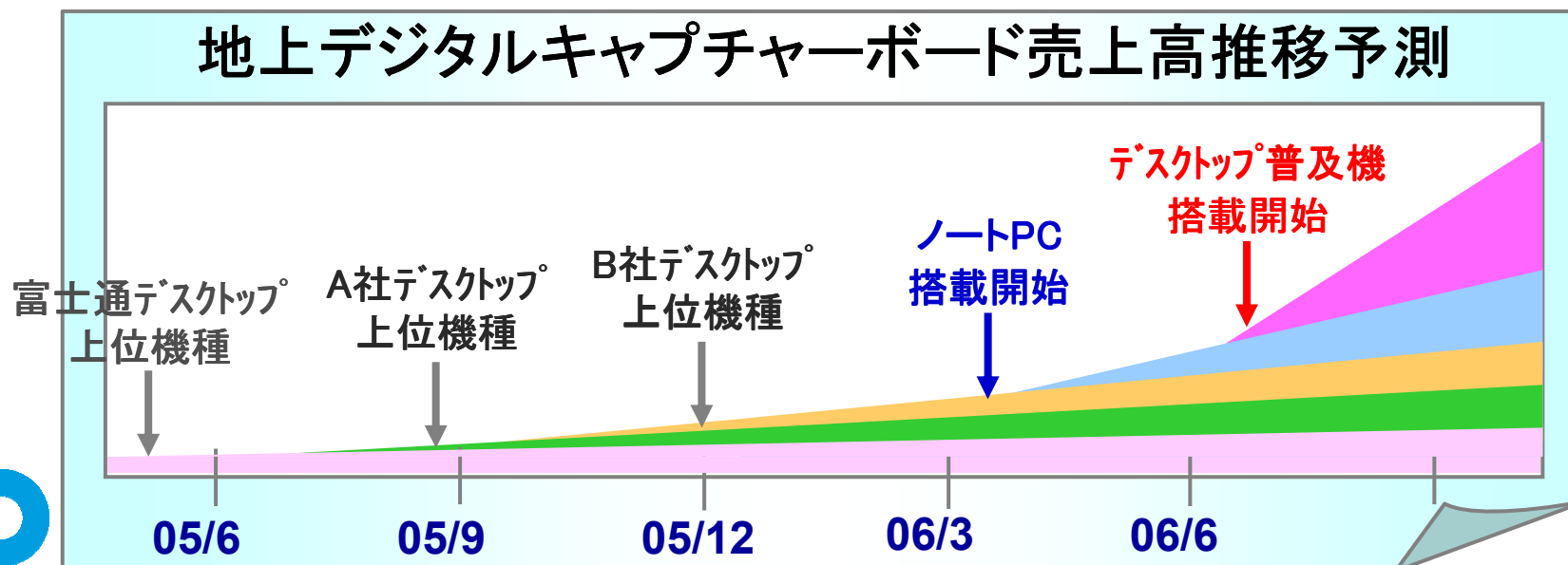
RfStreamシリコンチューナー改良型(TAJ0510ST/ TAU0510ST)が完成

TA500ST(日立プリウスノート採用のキャプチャー
ボードに搭載)からさらに、SAWフィルターなど一
体型としたモデル、供給先の開発負担軽減に寄与



地上デジタルキャプチャボード引合状況

メーカー名	製品種類	供給開始時期
富士通	デスクトップ	2005/4
A社	デスクトップ	2005/9
B社	デスクトップ	2005/11
—	ノート(開発中)	2006/春以降



直近展開

■新製品

- ・PIX-MPTV/P6W(高画質アナログテレビキャプチャーボード)リテール版発売
- ・PIX-DVRR/FW7(Macintosh向けDVDスーパーマルチドライブ)発売

■新開発

- ・ノートPC用地上デジタルテレビキャプチャーボード
- ・デジタルラジオ受信専用端末の開発



(直近展開)

新 製 品

PIX-MPTV/P6W(高画質アナログテレビキャプチャーボード)リテール版発売

10月
予定

05年3月発表、PCメーカーにOEM供給をしている10bitビデオデコーダーを採用し、高級家電並みの高画質表示と多彩な画質調整を実現したTVキャプチャボードのリテール製品



PIX-DVRR/FW7(Macintosh向けDVDスーパーマルチドライブ)発売

9月
予定

カートリッジタイプのDVD-RAMディスクの記録・再生に対応したMacintosh向け外付型DVD SUPER MULTドライブの「FWシリーズ」の最新モデル
添付アプリ「VRF Browser」とあわせ、DVDカム(8cmディスク対応)からデータを取り込める唯一のMacintosh向けソリューション
初回出荷2000台を予定



(直近展開)

新 開 発

ノートPC用地上デジタルテレビキャプチャーボードの開発

来春
製品化
予定

日本初となる地デジ対応ノートPC用テレビキャプチャーボード

miniPCI規格
RfStream製シリコンチューナー「TW1000」搭載
地デジ1波対応



外観サンプル

デジタルラジオ受信専用端末の開発

製品化を前提とした単体で動作する試作機
(従来型は、別途動作用基盤あり)

地上デジタルテレビ1セグメント受信可能
デジタルラジオ1／3セグメント受信可能

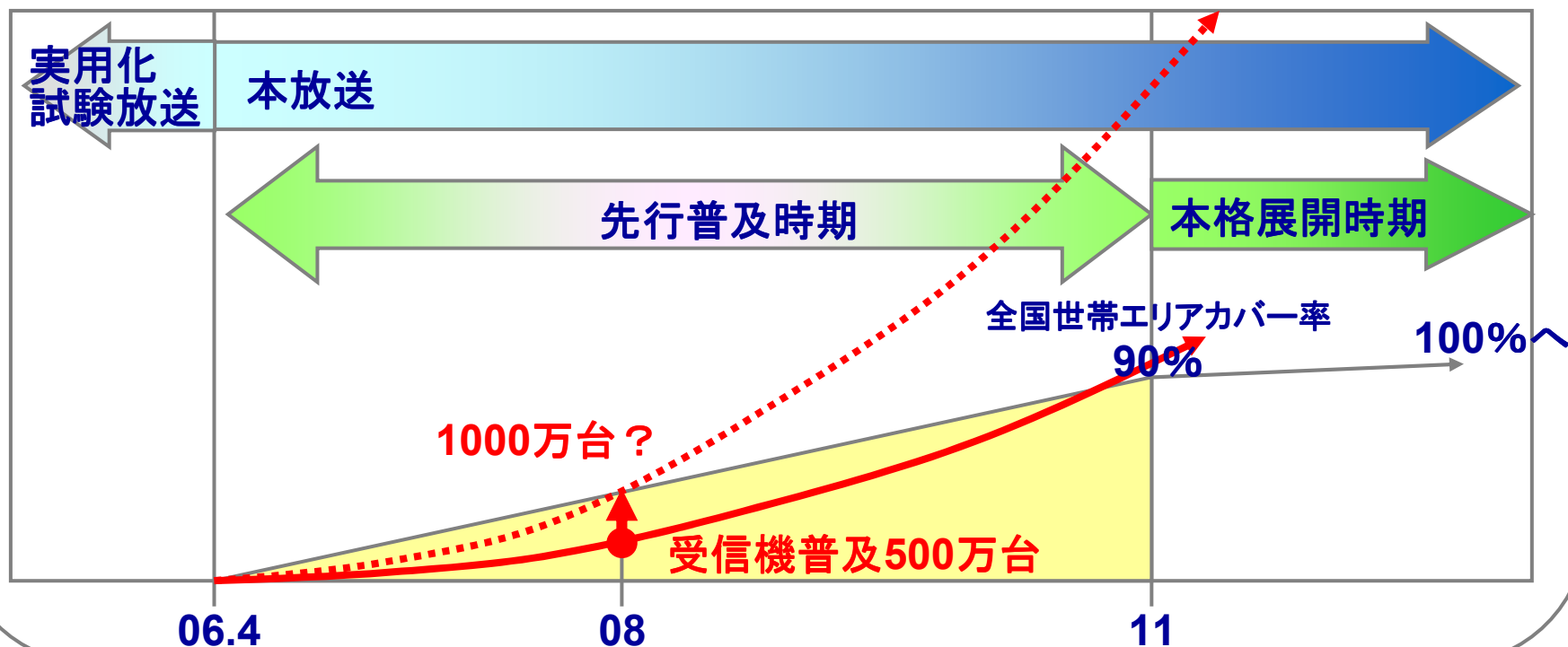


(直近展開)

デジタルラジオ放送への対応

～デジタルラジオ放送の今後の展開～

05年7月26日発表より 05年 マルチプレックス事業会社[※](民間免許主体)設立
06年4月 本放送開始



ピクセラ、ニュービジネスフォーラム(音楽配信・車載・プッシュ型コンテンツ配信の各ワーキンググループ)に参加



マルチプレックス事業会社にも参加の方針

※ マルチプレックス(multiplex)＝通信・放送における多重送信

(直近展開)

デジタルラジオ放送への対応

～デジタルラジオ放送におけるピクセラの展開～

PCカード型受信端末
(2004年1月出荷済)



ポータブルメディアプレーヤー
(デジタルラジオ受信専用端末)

VHF7chから
VHF8ch対応へ

06年
製品化
予定



より一層の小型化へ

06年
製品化
予定



ODMビジネス展開への足がかり、
1000万台普及をリードする受信機メーカーへ





会社概要

四半期決算概要と通期見通し

当四半期における事業展開

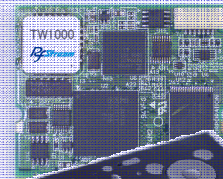
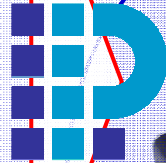
今後の展望

今後の展望

～デジタル・アナログ混在期のハードウェア展開～



BMLブラウザ等
のソフトウェア技術



RfStream



デジタル・アナログ両受信可
能シリコンチューナーの開発
新チューナー「TW」シリーズ
05年内に量産開始予定

テレビ分野
への展開

大画面TV用途
PC用途

モバイル用途
中小型TV用途



資料取扱上のご注意

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関する見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

